

*** 評価について**

①学校自己評価：本校の自己評価委員会（校長、教頭、教務、各学年主任、養護教諭、主査）が、子どもたちや保護者の皆様からのアンケート結果を基に、評価しました。

②学校関係者評価：①が適正かどうかを本校の学校運営協議委員（6名）が評価しました。

A：よく当てはまる（そう思う）
 B：やや当てはまる（どちらかといえば思う）
 C：あまり当てはまらない（どちらかといえば思わない）
 D：まったく当てはまらない（思わない）

令和4年度 田村市立船引小学校 学校評価結果報告書

本気と礼節の教育		礼儀正しく落ち着きがあり、ひたむきに頑張る子どもの姿を実現する						
めざす学校の姿		一人一人の能力や特性に応じた教育ができる学校 ○ 明るく力強く活気に満ちた学校 ○ 地域に根ざし着実に積み上げて、地域や保護者から信頼される学校 ○ 服務規律と危機管理意識が高い学校	めざす教職員の姿	一人一人のよさや可能性を見つけ伸ばせる教職員 ○ 心身ともに健康で、自己研さんに励んで己を高め、実践する教職員 ○ 地域のよさを知り、保護者や地域住民と協力し合える教職員 ○ 高い倫理観と自律心を保持した教職員				
評価項目				自己 評価	総合 評価	学校関係者 評価	結果・改善点等	
				4段階評価（ＡＢＣＤ）				
教育目標・校訓に関する項目	やさしく	子ども(徳)	1	年間35時間の道徳科授業を通して、子どもの健やかな心の成長(思いやりや学びの心)に努めている。	A	B	A	○道徳科の充実や日々の学校生活の中で児童の自己肯定感を高め、居場所づくりに努めたことが望ましい人間関係の構築につながりました。さらに、指導と支援の充実を図り、いじめや不登校の未然防止にも努めていく必要があります。なお、2月までのいじめ認知は173件でした。 ○児童自ら環境を整えようとする心の育成に努めることが必要です。特に本年度もコロナ禍であったため、清掃活動を中止したり、縦割り清掃ができなかったりしたことがありました。今後は、指導・支援のさらなる工夫とボランティアや環境整備の機会の確保・充実を目指していききたいと思います。
			2	豊かな体験活動を通して、教室の学習だけでは得られない実感を伴った学びや気づきに努めている。	B			
			3	自他のよさや違いを認められる学級づくりを進め、子どもたち同士の信頼関係を築き、人間関係を深められるように努めている。	A			
			4	清潔で整った教育環境の整備を通して、美しさを感じ得る心の育成に努めている。	B			
	かしこく	よく考えて しっかり学ぶ子ども(知)	5	学びがいのある学習課題を設定したり、自分の考えをもたせる場を保障したりした日々の授業の充実を通して、思考力判断力表現力に努めている。	A	A	A	○ICTの有効活用について学校全体で研さんを重ね、授業の充実を目指して取り組んできました。課題提示の可視化や思考の流れを示すツールとして学習意欲の向上に役立っています。今後も、学力の確実な定着を目指し、児童の学力状況の傾向から具体的な課題を見出し、充実した学びの場を設定・提供する必要があります。 ○本校では、高学年で一部教科担任制を実施して、教師の専門性を生かした学びの環境づくりに取り組んできました。また、全学年にわたって協働学習の推進を図り、児童のよさを複数の職員で育む体制を整えてきました。さらに、児童の能力や特性に応じた学びの実現に向けて、学校と家庭で情報を共有して取り組む必要があります。
			6	子どもの学力の実態を的確に捉え、その結果の基づいた適切な指導・支援や定期的な実態把握テスト等によって、基礎基本の定着を図っている。	A			
			7	特別支援学級と通常学級の連携を図り、能力や特性に応じた適切な指導ができる体制と環境づくりに努めている。	B			
			8	高学年で一部教科担任制を推進し、また、低中学年では交流学习や分科担任による学習を推進するなど、多くの教員で一人一人のよさや可能性を生かすことができるような指導体制づくりに努めている。	A			
	たくましく	進んでからだを きたえる子ども(体)	9	体力の実態を把握した結果に基づき、各自の目標をもたせるとともに、課題を補強・補完する指導を通して、子どもの体力増進に努めている。	B	B	B	○体力向上については、具体的な数値目標を設定し、改に向けた手立てを講じていきたいと考えています。授業の充実はもちろんのこと、運動の日常化を目指し、外遊びや奨励や特色ある体育的行事、全校をあげての体力づくり、場の設定などを検討していきます。 ○軽度肥満児童数の増加を踏まえ、食育の充実や児童・家庭への健康管理に対する啓発活動を行う必要があります。さらに、基本的生活習慣（早寝早起き朝ご飯）の確立とメディア利用（ゲーム・動画視聴・SNS等）に関する各家庭でのルールづくりの励行を図りたいと考えています。
			10	体育的行事の計画や大会等への出場を目指した取組みを充実させている。	A			
			11	個に応じた保健指導(むし歯指導や肥満指導など)を充実させるとともに、家庭との連携を通して朝食摂取やバランスのとれた食生活の大切さを啓発し、子どもの健康維持増進に努めている。	B			
			12	外部講師を招いた交通教室、防犯教室、避難訓練等の意図的・計画的な実施と適時性のある個別指導で、子どもの安全安心な学校生活に努めている。	A			

* 学校関係者：6名(学校運営協議会委員)